



# わだしいすき

第61号 平成26年8月28日発行

発行者：NPO法人和田地域づくり協議会『WAO!』

連絡先：住所 南房総市和田町仁我浦206 和田地域センター内

電話 0470-47-3427

## 子ども絵画教室 行われる

子ども絵画教室が、8月7日（木）に開催されました。南三原小と和田小の児童併せて14名と、保護者4名が参加して行われました。教室の壁面には、花とくじらの写真が飾られ雰囲気を盛り上げていました。子どもたちは、その写真の前に座ったり外の骨格標本や花壇を見に行ったりしながら、創造を広げ描いていました。ひまわりとくじらと一緒に描かれていたり、朝日を背景にジャンプするくじらであったりと、それぞれの想いがこもった作品が出来上がっていました。



思い思いに描きました

約2時間にわたる教室でしたが、低学年の子どもたちも集中力を切らすことなく取り組んでいました。ある子は「難しかったけど、楽しかった」という感想を述べていました。また保護者は「これで宿題が一つ終わったかな」と話していました。

11月には「WAO! 絵画コンクール」が行われます。この教室で描かれた作品の多くが、コンクールに出品されることと思います。

## 『まほろば夢楽まつり』に参加



夢楽まつりでの販売

7月27日（日）に三芳地域づくり協議会が主催した『まほろば夢楽（むら）まつり』が行われました。和田地域づくり協議会は、このまつりに初めて参加しました。というより、他地区のイベントに初めて出展・参加したのです。そして、ツチくじらカツ（和田地域づくり協議会のオリジナル商品）と、くじらコロッケなどを販売してきました。カツ、コロッケとも大変な人気で、夕方には完売してしまいました。

今後もこのように他地区でのイベントなどに参加し、和田地域づくり協議会 WAO! の名を広報していきたいと思っています。

## 安全柵作りの始まる

前号でお知らせしましたが、安心安全部会員を中心にくじらの骨格標本を取り囲む柵作りが始まりました。この日は縦杭に使う杉の丸太に防腐剤を塗ったり、縦穴を掘って埋めそれに横穴を取り付けたりしました。昼間はまだまだ暑いので投光器を使い夜間に作業したのですが、すぐに皆さん汗びっしょりになっていました。

まだ作業が始まったばかりで完成への見通しはたっていませんが、11月に行われる2周年感謝イベントまでには完成させる予定です。横杭には流木を使用しますので、味わいのある柵ができるはずです。



縦穴・横穴の位置を検討

# サーフィンプロジェクトの活動

地域づくり協議会サーフィンプロジェクトは、毎月の最終日曜日朝 8 時から白渚海岸を中心にビーチクリーンを行っています。7月27日(日)は WADA フェスに参加する関係で、早朝 6



さわやかな早朝の作業

時 30 分から仁我浦海岸で行いました。地域づくりの会員と WADA フェスに参加する方々併せて約 40 人が参加して行われました。ペットボトルやビンなどを拾うとともに、今回はビーチバレーボールを行う関係で、バレーボールコート周辺では小枝まで取り除きました。

WADA フェスのイベントには、子どもたちを対象にビーチフラッグ競技とスイカ割りに参加しました。ビーチフラッグでは砂の上で転んだり、スイカ割りでは見事に真ん中から割ったりするなど、楽しいひとときを過ごしていました。

## くじら料理と月見の会

「くじら料理と月見の会」が 9 月 7 日(日)に、南房総市観光協会和田支部の主催で、和田浦海水浴場駐車場で行われます。昨年は道の駅「和田浦 WA・O！」の西駐車場で行われましたが、安全などのことから、今年は一昨年まで行われていた場所へ戻ります。



昨年の会の様子

模擬店にどのような店がでるのかまだ不明ですが、例年のようにやきそばやジャックチキン、くじらの串カツなどが出店すると思われます。

また舞台を中心とした催しでは、太鼓の演奏、餅投げ、フラダンスなどが行われ、吉永小百合さん主演の「ふしぎな岬の物語」で使用されたくじら御輿も展示される予定です。

## そば打ち体験

ひだまりの郷がオープンして、5年目を迎えました。ひだまりの郷は、いろいろな体験ができます。その一つに、そば打ち体験があります。そばは千葉県の在来種である「野呂そば」を使っています。今年も「野呂そば」の種まきを 8 月中旬に行いました。花が咲くのは 9 月末頃、そして収穫は 10 月 20 日過ぎになるだろうとのこと。そば打ち体験が行えることが各方面に伝わり、今年の夏は、近隣の子ども会や近畿日本ツーリストのお客さんなど、大勢の方々が訪れてくれたそうです。



真剣なまなざし

作り方は思っていたより簡単(上手い下手は別ですが)でした。幼稚園児も体験しているそうです。ぜひ、そば作りを体験してください。

## おぼぎ山のぼわんぼわん

「おぼぎ山のとっぺんには、小さなお社のこんぴら様がまつってありました。ー」で始まる絵本『おぼぎ山のぼわんぼわん』は、和田浦出身で柏市在住の山口祐子さんと娘の知子さんが出版したものです。そしてこのおぼぎ山は、仁我浦に実在する山です。

この物語は、兄のこう太と妹のみっちゃんが、夏休みにおばあちゃんの家で過ごし、「ぼわんぼわん」と山で出会い、こんぴら様の周辺が荒れ果てていることを教えてくれ、地域の人達がきれいにしたという内容です。

この絵本を和田地域づくり協議会事務局で販売しています。ご希望の方は、お申し出ください。1400 円+税です。

